

活性酸素を過剰に発生させる ストレスや病気

老化	20歳をピークに抗酸化力が低下すると老化が始まります。 老化のスピードは、年齢と共に早まります。
動脈硬化	血中のコレステロールや高血圧によって発生した 活性酸素が原因で血管がもろくなります。
しみ・しわ	紫外線によって発生する活性酸素が 皮膚表面の油と結合してシミやしわの原因となります。
脳神経	パーキンソン病・アルツハイマー型痴呆 筋萎縮性側索硬化症・てんかん
眼疾患	糖尿病性網膜症・白内障 など
呼吸器	気管支喘息・喫煙による気道障害 など
循環器	虚血性不整脈・心筋梗塞・高血圧
消化器	急性胃粘膜障害・大腸炎・膵炎 脂肪肝 など
腎臓	腎不全・尿毒症 など
糖尿病・アレルギー・リウマチ性疾患 免疫不全・膠原病・後天性免疫不全症候群(AIDS)	

発ガン

過剰なストレスや乱れた生活習慣、動物性食品、添加物、甘い物などを代謝する時に、活性酸素が発生し、遺伝子を破壊するのが原因。

心筋梗塞・脳卒中

血管や血液に悪玉コレステロールと活性酸素が増えると、血管壁に沈着し、血管壁が硬くなって、柔軟性を失って、動脈硬化になります。